

専門課程シラバス

授業科目	母性看護学 I		担当者	大谷良子		実務経験	○(助産師)
開講時期	2学年前期・後期	授業の方法	講義	単位数	1	時間数	15
授業概要	妊婦・産婦・褥婦及び新生児期にある対象の経過(異常を含む)を理解する。生理的变化及び逸脱した場合の病態・症状・診断・治療について学ぶ。また、異常な経過に移行しないための予防や早期発見の方法を学ぶ						
授業計画	<p>1・2 妊娠期の対象(妊娠の経過と胎児の発育・妊婦の心理)</p> <p>3・4 妊娠期の対象(妊婦と胎児のアセスメント・妊娠期の逸脱兆候)</p> <p>5・6 分娩期の対象(分娩の定義と3要素・分娩の経過と看護)</p> <p>7・8 分娩期の対象(産婦、胎児、家族のアセスメント・分娩期の逸脱兆候)</p> <p>9・10 産褥期の対象(産褥の定義・身体的変化・心理的特徴・褥婦のアセスメント・逸脱兆候)</p> <p>11・12 新生児期の対象(新生児の定義・出生後24時間以内の観察とケア 出生後24時間以降の観察とケア)</p> <p>13・14 新生児期の対象(新生児の定義・出生後24時間以内の観察とケア 出生後24時間以降の観察とケア)</p> <p>15 新生児期の対象(新生児の胎外生活適応経過・新生児のアセスメントと逸脱兆候)</p> <p>終講試験</p>						
テキスト 参考文献	系統看護学講座 専門分野 母性看護学2 母性看護学各論 第14版 第2刷 医学書院 2024						
成績評価 の方法	筆記試験、課題レポート、出席状況、受講態度等で総合的に判断する						